

こんにちは、炭素市場エクスプレス事務局です。

本メールマガジンは、炭素市場に関する最新の動向や国内外のイベント情報等についての情報を毎月 2 回程度配信しています。下記リンクもあわせてご覧ください。

ホームページ <https://www.carbon-markets.go.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/jcm.oecc/>

二国間クレジット制度 (JCM) <https://www.carbon-markets.go.jp/jcm/index.html>

◇トピックス

---

◆1. 事務局からのお知らせ

- [1] SB56 ウェビナー傍聴：気候資金における人権に配慮したアプローチの推進 (2022 年 6 月 15 日)
- [2] SB56 ウェビナー傍聴：北欧の気候政策、炭素市場メカニズム及びエネルギーアクセスイニシアティブにおけるジェンダーへの焦点 (2022 年 6 月 8 日)
- [3] SB56 ウェビナー傍聴：パリ協定 6 条実施におけるキャパシティビルディングニーズに関する地域対話 (2022 年 6 月 8 日)
- [4] SB56 ウェビナー傍聴：自主的な気候変動防止プロジェクトの文脈における SDGs の推進 (2022 年 6 月 7 日)

◆2. 政府機関の報道発表

- [1] 令和 4 年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」の第一次採択案件の決定について (環境省)
- [2] 「カーボン・クレジット・レポート」及び本年 9 月から実施するカーボン・クレジット市場の実証事業に係る制度骨子が公表されました (経済産業省)

◆3. イベントのお知らせ

- [1] 【開催案内】インドネシアにおける二国間クレジット制度 (JCM) の実施に関するウェビナー ～ JCM を活用した脱炭素への移行の加速～ (GEC)

◆1. 事務局からのお知らせ

---

- [1] SB56 ウェビナー傍聴：気候資金における人権に配慮したアプローチの推進 (2022 年 6 月 15 日)

SB56 サイドイベント傍聴レポート「気候資金における人権に配慮したアプローチの推進（Advancing a human rights-based approach to climate finance）」

日時：2022年6月15日（水）

共催：German Corporation for International Cooperation (GmbH, GIZ), German Society for International Cooperation (DIC), ドイツ連邦経済協力開発省, 国連高等弁務官事務所, UNEP, the 100% Foundation

本イベントでは、気候資金に関連する人権義務（有意義な情報に基づく参加、影響評価、環境・社会保障措置、独立苦情処理メカニズムなど）に焦点を当て、「気候脆弱性フォーラム（the Climate Vulnerable Forum: CVF）」の議長国ガーナ、2022年5月から国連人権委員会・気候変動特別報告官を勤める Ian Fry 氏、GCF、先住民の活動家等が気候変動と人権についてコメントし～

【ウェビナー傍聴メモ】

⇒ [http://carbon-markets.env.go.jp/column/event\\_report/11707/](http://carbon-markets.env.go.jp/column/event_report/11707/)

-----  
[2] SB56 ウェビナー傍聴：北欧の気候政策、炭素市場メカニズム及びエネルギーアクセスイニシアティブにおけるジェンダーへの焦点（2022年6月8日）

「テキストから取引へ－6条ガイダンスは現場でどのように実施されるか？（From text to trade: How is Article 6 guidance being implemented on the ground?）」

日時：2022年6月8日（水）

主催：Nordic Council of Ministers (NCM), Corporation (NEFCO)

本イベントでは、気候政策、市場メカニズム、エネルギー・アクセス・プログラムにジェンダーの観点を統合することについて、主に北欧諸国が主導する取組の状況及び課題について議論が行われ～

【ウェビナー傍聴メモ】

⇒ [http://carbon-markets.env.go.jp/column/event\\_report/11708/](http://carbon-markets.env.go.jp/column/event_report/11708/)

-----  
[3] SB56 ウェビナー傍聴：パリ協定6条実施におけるキャパシティビルディングニーズに関する地域対話（2022年6月8日）

「パリ協定 6 条実施におけるキャパシティビルディングニーズに関する地域対話（Dialogues on capacity building needs for the implementation of Article 6）」

日時：2022 年 6 月 8 日（水）

主催：Secretariat of the United Nations Framework Convention on Climate Change (UNFCCC)

パリ協定 6 条実施におけるキャパシティビルディングニーズに関する地域対話は、各国のキャパシティビルディングニーズに関する情報を収集することを目的としている。同対話は、CDM の移行を含む 6 条関連の COP26 の成果に焦点を当て～

【ウェビナー傍聴メモ】

⇒ [http://carbon-markets.env.go.jp/column/event\\_report/11709/](http://carbon-markets.env.go.jp/column/event_report/11709/)

-----  
[4] SB56 ウェビナー傍聴：自主的な気候変動防止プロジェクトの文脈における SDGs の推進（2022 年 6 月 7 日）

「自主的な気候変動防止プロジェクトの文脈における SDGs の推進（Advancing the Sustainable Development Goals in the context of voluntary climate protection projects）」

日時：2022 年 6 月 7 日（火）

主催：Secretariat of the United Nations Framework Convention on Climate Change (UNFCCC)

本イベントでは、GHG 排出の回避と炭素市場の活用を組み合わせることで、脱炭素化を推進し、SDGs 達成のための追加的な利益を得ることができることが紹介され～

【ウェビナー傍聴メモ】

⇒ [http://carbon-markets.env.go.jp/column/event\\_report/11710/](http://carbon-markets.env.go.jp/column/event_report/11710/)

## ◆2. 政府機関の報道発表

[1] 令和 4 年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」の第一次採択案件の決定について（環境省）

令和4年7月1日、令和4年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」の第一次採択案件として16件を選定しました。これまでに同事業により採択した案件による2030年までの累積温室効果ガス（GHG）削減量は、約1,903万トンを見込んでいます。

引き続き、第二次採択に向けて案件を募集（第二次公募〆切は令和4年7月29日（金））しています。今後も、「地球温暖化対策計画（令和3年10月閣議決定）」等に基づき、「二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism：JCM）」を通じた環境インフラの海外展開を一層強力に促進していきます。

#### 【報道発表】

⇒ [https://www.env.go.jp/press/press\\_00054.html](https://www.env.go.jp/press/press_00054.html)

[2] 「カーボン・クレジット・レポート」及び本年9月から実施するカーボン・クレジット市場の実証事業に係る制度骨子が公表されました（経済産業省）

「カーボンニュートラルの実現に向けたカーボン・クレジットの適切な活用のための環境整備に関する検討会」は、カーボン・クレジットの活用に関して基本となる情報や今後のあり方を整理した「カーボン・クレジット・レポート」を本日公表いたしました。

また、本検討会に関連して経済産業省が実施するカーボン・クレジットの市場取引に関する実証事業について、委託先である東京証券取引所が、制度骨子の公表及び実証参加者の応募を開始いたしました。

#### ◆3. イベントのお知らせ

[1] 【開催案内】インドネシアにおける二国間クレジット制度（JCM）の実施に関するウェビナー ～ JCMを活用した脱炭素への移行の加速～（GEC）

日本環境省及び公益財団法人地球環境センター（GEC）は、インドネシア経済担当調整大臣府及びインドネシア JCM 事務局と共催で、2022年7月26日（火）に「インドネシアにおける二国間クレジット制度（JCM）の実施に関するウェビナー ～JCM を活用した脱炭素への移行の加速～」を開催します。本ウェビナーでは、JCM 設備補助事業を中心に、制度の内容を詳しく説明するとともに、JCM を活用して GHG 排出削減を図る好事例を紹介します。

また、ウェビナー終了後には、JCM 資金支援事業に関する個別相談、さらにインドネシアにおいて JCM 資金支援事業による脱炭素技術等導入を検討中の企業と、関連技術を提供できる企業とのビジネスマッチングの個別面談を設定します。

開催日時：2022年7月26日（火）15：00～17：30（日本時間）

開催方式：Zoom

言語：英語

【ウェビナー視聴登録・個別面談申し込み】

⇒ [https://gec.jp/jcm/jp/news/jcm2022indonesia\\_info/](https://gec.jp/jcm/jp/news/jcm2022indonesia_info/)

◎ ●お問い合わせについて

---

炭素市場エクスプレスでは、二国間クレジット制度（JCM）や国際的な市場メカニズムに関する情報を提供しております。JCM の制度や仕組み、プロジェクトの実施、クレジットの活用及び市場メカニズムの動向等について、メールにてお気軽にご相談ください。

⇒ [info@carbon-markets.go.jp](mailto:info@carbon-markets.go.jp)

メールマガジン登録内容変更もしくは配信停止ご希望の方は、下記ページより手続きください。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/newsletter/>

メールマガジンのバックナンバー（PDF）は下記サイトで公開しています（最新号を配信後に、前号がアップされます）。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/newsletter/2021/>

◎ ●発行・編集

---

炭素市場エクスプレス事務局 / 一般社団法人海外環境協力センター（OECC）

〒110-0016 東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル 7・7 階

---

※このメールの記載内容の無断転載、無断複製を禁じます。